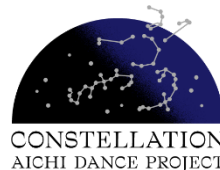




公益財団法人 愛知県文化振興事業団

2026年 3月 23日 (月)  
愛知県芸術劇場  
企画制作部  
Tel 052-955-5506



<Press Release>

報道各位

ハンブルクに続いて愛知(日本)から世界に発信する

# 愛知県芸術劇場プロデュース 酒井はな×岡田利規 『ジゼルのあらすじ』



2026年2月 ドイツ・ハンブルク公演より  
Hana SAKAI×Toshiki OKADA "Giselle: A Summary" Lessingtage2026 photo by Thalia Theater/Fabian Hammerl

SPRING Performing Arts Festival Utrecht  
ユトレヒト市立劇場(オランダ・ユトレヒト)  
2026.5.21(木)20:30 開演

お  
問  
合  
せ

愛知県芸術劇場(愛知県文化振興事業団) 企画制作第二グループ(武石・二河)  
〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2  
Tel 052-955-5506 Fax 052-971-5541 ✉ [pr@aaf.or.jp](mailto:pr@aaf.or.jp)  
【作品介绍ページ】 <https://aichi-constellation.com/sakai-giselle>

# 10年以上続くヨーロッパの国際芸術祭で上演 バレエの可能性を問う新感覚のダンス・パフォーマンス



2026年2月 ドイツ・ハンブルク公演より  
Hana SAKAI×Toshiki OKADA"Giselle:A Summary"Lessingstage2026 photo by Thalia Theater/Fabian

愛知県芸術劇場が2024年にDance Base Yokohamaと共同製作した『ジゼル』のあらすじが、2026年5月21日（木）にユトレヒト市立劇場（オランダ・ユトレヒト）で開催される国際芸術祭「SPRING Performing Arts Festival Utrecht（スプリング パフォーミング・アーツ フェスティバル ユトレヒト）」にて上演されます。

「SPRING Performing Arts Festival Utrecht」は、革新的なダンス・演劇・パフォーマンスなどの作品がオランダ内外から集う、世界をリードする芸術のプラットフォームです。2010年から開始し、今回は10日間で25を超えるパフォーマンスが行われます。

このフェスティバルで上演される『ジゼル』は、古典バレエの金字塔『ジゼル』を解体・再構築し、バレエの可能性を問いかけるダンス・パフォーマンスです。愛知県芸術劇場芸術監督の唐津絵理による発案・企画のもと、これまで取り組んできたクラシックバレエを再構築するプロジェクトの第二弾として創作は始動しました。YouTuberに扮した酒井が物語を語り、自身がこれまで演じてきた「ジゼル」への距離感や親密さを表現し、舞台とオンラインが交錯する構成が、観客を魅惑的な世界へと引き込みます。

出演は、元新国立劇場バレエ団プリンシパルの酒井はなと、元ザ・フォーサイスカンパニーの島地保武（いずれも愛知県芸術劇場ダンスアーティスト）。演劇カンパニー「チェルフィッチュ」主宰の岡田利規（演出・脚本）とともに創作され、愛知・神奈川・大阪と、国内で注目を集めました。その後、今年2月に開催されたレッシングターゲ演劇祭2026（ドイツ・ハンブルク）に本作は招聘され、現地では「日本人のダンスにおける身体性を垣間見た」や「言葉と身体の関係性が大変興味深い」などの評価をいただきました。

今回は約3か月ぶりにヨーロッパで上演。公演に向けてプロデューサーの唐津絵理芸術監督は「革新的な舞台芸術が集うSPRINGフェスティバルで、愛知県芸術劇場がプロデュースした『ジゼル』のあらすじ』を上演できることを大変うれしく思います。古典バレエを現代の視点から問い直した本作が、新たな観客との出会いを通してさらに広がることを期待しています」と語っています。

# 愛知と世界をつなぐダンスプロジェクト 「Constellation（コンステレーション）」



CONSTELLATION  
AICHI DANCE PROJECT

「Constellation(コンステレーション)  
～世界をつなげる愛知県芸術劇場ダンスプロジェクト～」  
ロゴマーク



文化庁によるクリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業  
シンボルマーク

本作は、当劇場が 2024 年より始動した、世界をつなぐダンスプロジェクト「Constellation（コンステレーション）」の第一作として創作され、今回が 2 回目の海外上演となります。Constellation は日本語で“星座”を意味しています。観客・劇場・アーティストがつながることで、愛知県芸術劇場が日本におけるダンス作品のハブ劇場となり、日本と海外をつなげていくことを目指しています。これは、国籍・世代・文化的背景の違いを越えて人々をつなぐダンスの力に着目し、30 年以上にわたりこの魅力を発信してきた当劇場ならではの取り組みです。

本プロジェクトで創作された作品が上演される機会を創出し、当劇場から海外に向けて発信してまいります。

なお、本プロジェクトは、文化庁が設けた「文化芸術活動基盤強化基金」による「クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業」として採択を受け、実施しています。

## 本作のレビュー

岡田利規×酒井はな『ジゼルのあらすじ』は、「瀕死の白鳥」を扱った前作に続く二人の顔合わせで古典バレエを現代に語り直す。岡田のテキストは酒井自身による「ジゼル」上演の経験を織り込み、ユーチューバーに扮する酒井の演じるコメディ調のモノローグに仕立てた。

[情報紙「AAC journal by 愛知芸術文化センター」 vol.123](#)

ダンス批評 竹田 真理（2024 年 愛知 初演より）

彼女は役柄を次々と切り替えながら、自身の経験を通して息を切らすことなく物語を語る。そして、繊細な皮肉とユーモアも惜しみなく盛り込む…高尚な文化と日常の文化を融合させ、巧みに疑問を投げかける。

[Hamburger Abendblatt](#)

Annette Stiekele（2026 年ハンブルク公演より）

# プロフィール

---

## 出演

### 酒井はな／Hana Sakai (ダンサー)

5才よりバレエを始め、畑佐俊明、牧阿佐美、三谷恭三に師事。1993年牧阿佐美バレエ団入団、18才で『くるみ割り人形』主演デビュー。1997年開場とともに新国立劇場バレエ団に移り、プリンシパルとして数々の初演を含む主演を務める。優れた表現力と高い技術に品格の備わった、日本を代表するバレエダンサーのひとり。クラシックバレエを中心にコンテンポラリーダンスやミュージカルにも出演。2013年島地保武とともにダンス・ユニット<アルトノイ>を立ち上げる。芸術選奨文部科学大臣賞（2009年）、第35回ニムラ舞踊賞（15年）、紫綬褒章（17年）、第39回橋秋子賞特別賞（18年）、東京新聞舞踊芸術賞（21年）受賞。洗足学園音楽大学バレエコース客員教授。Dance Base Yokohama (DaBY) ゲストアーティスト。愛知県芸術劇場ダンスアーティスト。



### 島地保武／Yasutake Shimaji (ダンサー・振付家)

2004~06年 Noism（新潟市）、06~15年ザ・フォーサイス・カンパニー（フランクフルト）に所属。13年に酒井はなとのユニット<アルトノイ>を結成。16年愛知県芸術劇場製作で環 ROY と共作共演の『ありか』を初演以来10年にわたり国内外で再演し続けている。ダンスを軸に多岐にわたり活動している。Dance Base Yokohama (DaBY) ゲストアーティスト。愛知県芸術劇場ダンスアーティスト。



## 演出・脚本

### 岡田利規 / Toshiki Okada (演劇作家・小説家)

演劇カンパニー「チェルフィッチュ」主宰。2007年に『三月の5日間』で海外進出を果たして以降、世界90都市以上で作品を上演し続けている。音楽家・美術家・ダンサー・ラッパーなど様々な分野のアーティストとの協働を積極的に行うほか、16年からはドイツの公立劇場レパートリー作品の作・演出を継続的に務めている。



## 企画・コンセプト・プロデュース

### 唐津 絵理 / Eri Karatsu (愛知県芸術劇場 常務理事 芸術監督

／DaBY アーティスティックディレクター)

1993年より日本初の舞踊学芸員として愛知芸術文化センターに勤務。大規模な国際共同製作から実験的パフォーマンスまでプロデュース、招聘した作品やプロジェクトは200を超え。また、愛知県発信の国内外ツアーを多数開催。最近ではフランス、香港、アメリカ等の劇場やフェスティバルから招聘された。2023年令和4年度(第73回)芸術選奨文部科学大臣賞(芸術振興部門)受賞。



# 公演情報

フェスティバル | SPRING Performing Arts Festival Utrecht

日時 | 2026年5月21日(木)20:30 開演

会場 | ユトレヒト市立劇場(オランダ・ユトレヒト)

WEBサイト | [SPRING Performing Arts Festival Utrecht | 22 — 31 mei](#)

クレジット | 演出・脚本:岡田利規

出演:酒井はな、島地保武

舞台美術:佐々木文美

企画・コンセプト・プロデュース:唐津絵理(愛知県芸術劇場/Dance Base Yokohama)

舞台監督:湯山千景

照明デザイン:櫛田晃代

音響デザイン:中原楽(KARABINER inc.)

制作:二河茉莉香(愛知県芸術劇場)

字幕翻訳:オガワアヤ

企画制作・共同製作 | 愛知県芸術劇場[愛知県文化振興事業団]

Dance Base Yokohama [一般財団法人セガサミー文化芸術財団]

助成 | 文化芸術活動基盤強化基金(クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

協力 | 株式会社 precog



## 「Constellation(コンステレーション) ～世界をつなげる愛知県芸術劇場ダンスプロジェクト～」とは

愛知県芸術劇場は、国籍や世代、文化的背景の違いを越えて人々をつなぐダンスの力に着目し、30年以上にわたりその魅力を発信してきました。そして今、新たな挑戦として「Constellation(星座)」プロジェクトを立ち上げました。バレエ、コンテンポラリーダンス、ストリートなど多彩なジャンルで活躍するダンサーや振付家が「愛知県芸術劇場ダンスアーティスト」として集い、創造と交流の拠点となるプラットフォームを築いていきます。さらに、アーティストやクリエイティブスタッフのみならず、観客や地域社会もゆるやかにつながることで、創造・交流・発信の循環を生み出し、劇場が国際的なネットワークのハブとなる未来をめざします。星座のように、それぞれが響き合い、互いの輝きを高めてまいります。

作品紹介ページ <https://aichi-constellation.com/sakai-giselle>